

5月19日

瑞浪北中校区資源回収と

「さわやかウォーキング」ボランティア

瑞浪北中学校になって初めての資源回収。瑞浪市の総面積の約7割を占める広い校区では、中学校単独で資源回収はできません。そこで、4つの小学校が中心となって取り組み、それぞれに出身生徒が手伝いに出向くという形で行いました。



生徒たちはできる範囲で積極的に取り組み、保護者や教師に負けない働きをしていました。トラックの上に進んで上がり、運ばれてくる資源を荷台で必死に整理する姿がありました。また、資源が運ばれてくる車が到着するたび、駆け寄って汗を流しながらトラックに移す姿もありました。小学校の校長先生からは「さすが中学生！どの子も頑張っていましたよ！」という評価もいただきました

生！どの子も頑張っていましたよ！」という評価もいただきました

この日は、「さわやかウォーキング」が行われ、資源回収後に桜堂薬師と鶴ヶ城跡でボランティアに取り組む生徒がいました。「天神窯春まつり」ボランティアの時と同じく、土岐地区で募ったボランティアにもかかわらず、他地区出身の生徒も参加していました。北中校区全体を意識して参加している生徒がいることは大変うれしいことです。



「お茶をどうぞ！」

「アンケート用紙をお持ちの方はこちらにお出してください！」

汗をぬぐいながら到着するウォーキング参加者に、ねぎらいや案内の言葉をかけながらボランティアに取り組みました。北中生のさわやかな対応に、ウォーキング参加者の顔もほころんでしました。

5月21日 救急救命訓練

瑞浪市消防署から3名の消防士をお招きし、2・3年生を対象に救急救命訓練を行いました。生徒たちは人形を使い、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの装着等を実際に体験しました。生徒たちの指導にあたってくださった消防士の皆様は、「みんな真剣に取り組んでいた」「胸骨圧迫の練習等、声もしっかり出せており、感心した」「さわやかな生徒さんたちで、反応もよく、頼もしさを感じた」といった評価をしてくださいました。また、「災害時、10代の若者たちには、年配の方の命を守り、時に救うことへの期待がかけられる。そのためにも、こういった訓練を通して防災意識をしっかりと育ててほしい」というお言葉もいただいております。熱心かつ丁寧に指導してくださった消防士の皆様、本当にありがとうございました。

